

気象と災害の概況

■ 概要

6月下旬から梅雨前線が西日本から東日本付近に停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、九州南部を中心に大雨となった。6月28日から7月5日までの総降水量は、宮崎県えびの市えびので1089.5ミリなど、九州北部地方や九州南部で400ミリを超えたところがあり、7月の月降水量平年値の2倍となる大雨となったところがあった。

この大雨の影響で、河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生し、鹿児島県で死者2名となった。また、西日本や東日本で住家被害が発生し、停電、断水、電話の不通等ライフラインに被害が発生したほか、鉄道の運休等の交通障害が発生した（被害に関する情報は令和元年7月9日内閣府とりまとめによる）。

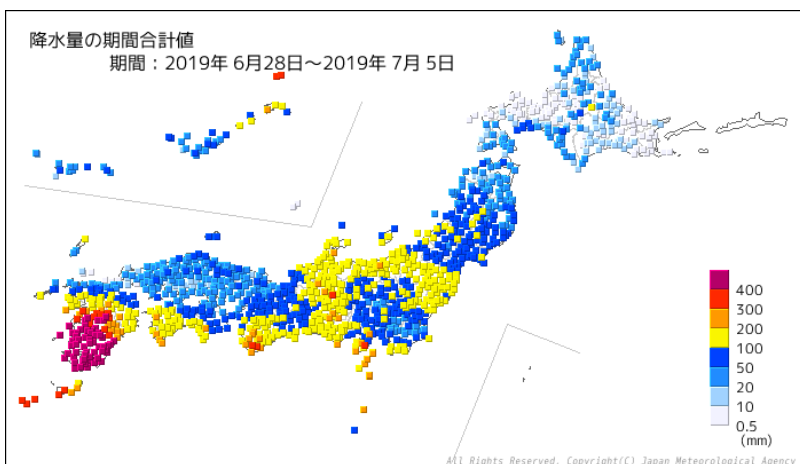
■ 災害状況（被害に関する情報は令和元年7月9日内閣府とりまとめによる） ※鹿児島県のみ抜粋

人的被害 死者2名、負傷者5名

住家被害 全壊8棟、半壊5棟、一部半壊13棟、床上浸水70棟

土砂災害 土石流等4件、がけ崩れ101件 など

■ 2019年6月28日から2019年7月5日までの降水量の期間合計値

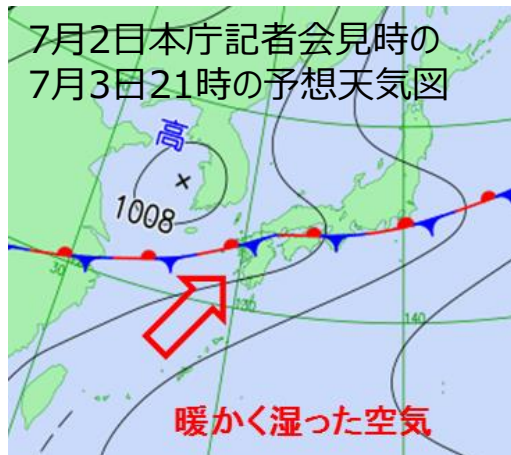


順位	都道府県	市町村	地点	期間合計値	
				※	mm
1	宮崎県	えびの市	えびの(エビノ)	※	1089.5
2	鹿児島県	鹿屋市	吉ヶ別府(ヨシガベツ)	※	901.0
3	宮崎県	日南市	深瀬(フカセ)	※	867.5
4	鹿児島県	鹿屋市	輝北(キホク)	※	857.5
5	鹿児島県	薩摩川内市	八重山(ヤエヤマ)	※	842.0
6	鹿児島県	曾於市	大隅(オオスミ)	※	814.5
7	鹿児島県	霧島市	牧之原(マキノハラ)	※	805.5
8	鹿児島県	日置市	東市来(ヒガシイチキ)	※	776.5
9	鹿児島県	霧島市	溝辺(ミゾベ)	※	776.0
10	宮崎県	都城市	都城(ミヤコノジョウ)	※	747.5

※7月の月降水量の平年値を超えた地点

雨量の予想と実際の状況について（九州南部）

- ・2日本庁記者会見時の予想雨量は、ほぼ実況どおりであった。
- ・3日本庁記者会見時の予想雨量は、4日06時までは実況より過小で、5日06時までは過大となった。これは強雨のタイミングが全体的に早まったことが原因である。



2日本庁記者会見時の
予想される24時間雨量（多い所）

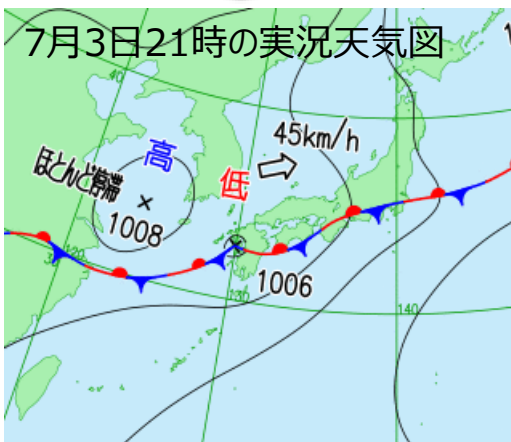
	3日 12時まで	4日 12時まで
九州南部	150	300 ~400

(単位ミリ)

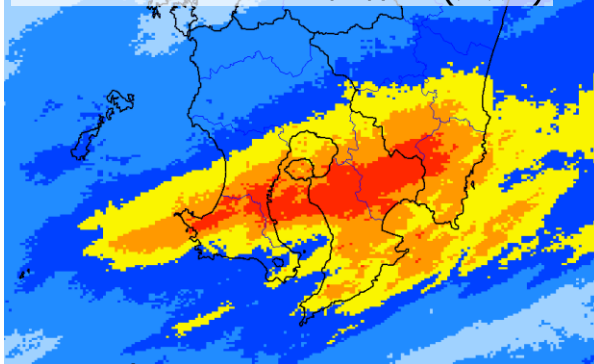
3日本庁記者会見時の
予想される24時間雨量（多い所）

	4日 06時まで	5日 06時まで
九州南部	350	200 ~300

(単位ミリ)

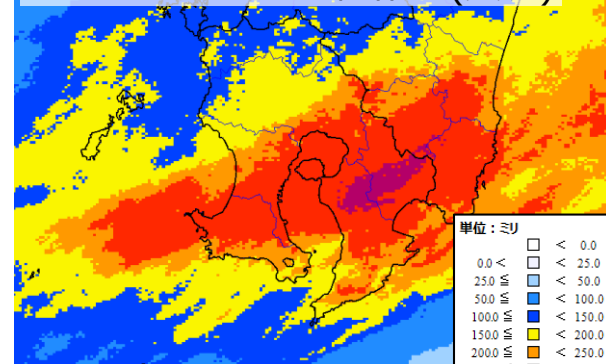


4日12時までの24時間雨量(実況)



約250ミリから350ミリ

4日06時までの24時間雨量(実況)



約400ミリから500ミリ

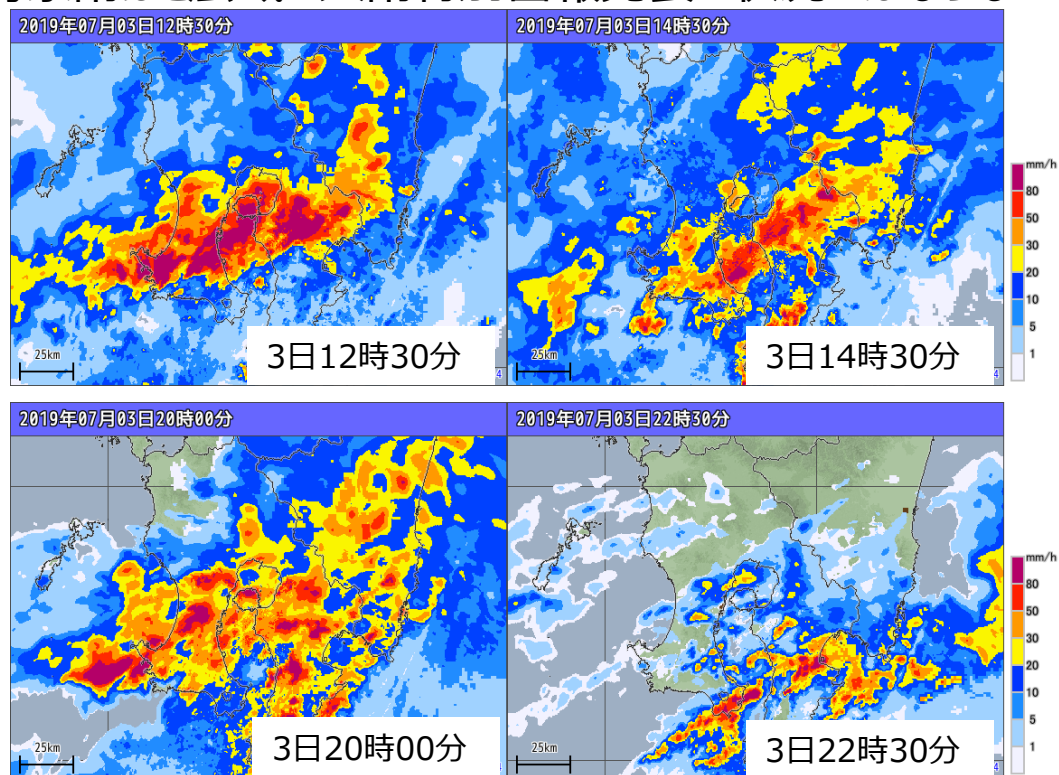


大雨特別警報発表の可能性への言及について

- ・3日10時の記者会見時点では、「非常に激しい雨が同じ地域で数時間続くような場合には、大雨特別警報を発表する可能性」もあると予想される旨に言及した。
- ・実際には、一時的に降水が弱まったり前線が南下したりするなどして強雨が持続しなかったため、大雨特別警報の発表には至らなかった。

- ・3日10時の記者会見時点では、時間や場所を限定することは困難であるものの、前線が停滞するなどして局地的な大雨となり、短時間指標で大雨特別警報を発表する可能性はあると予想される旨に言及していた。ただし、平成30年7月豪雨ほど広域に大雨特別警報発表の状況にはならないと説明していた。

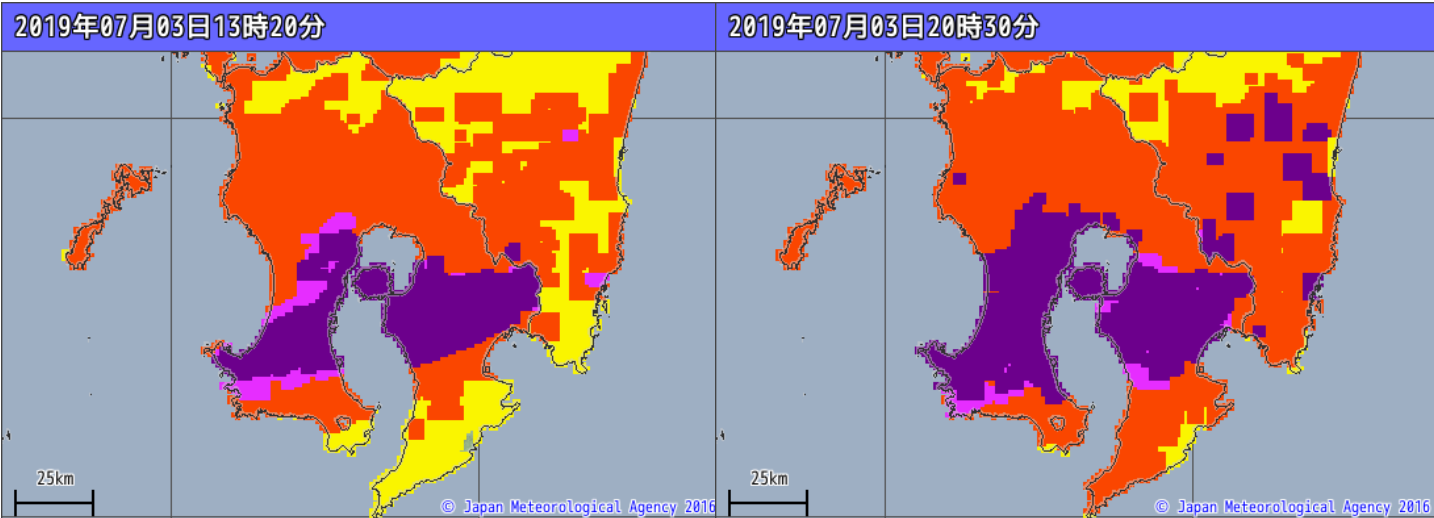
- ・3日昼頃や夜遅くには猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、あと数時間強雨が続いた場合には、3日昼頃は短時間指標で、3日夜には長時間指標で大雨特別警報の発表基準に達するような状況であった。実際には、一時的に降水が弱まったり前線が南下したりするなどして強雨が持続しなかった（右図参照）ため大雨特別警報の発表には至らなかった。



雨雲の動き（降水強度分布）

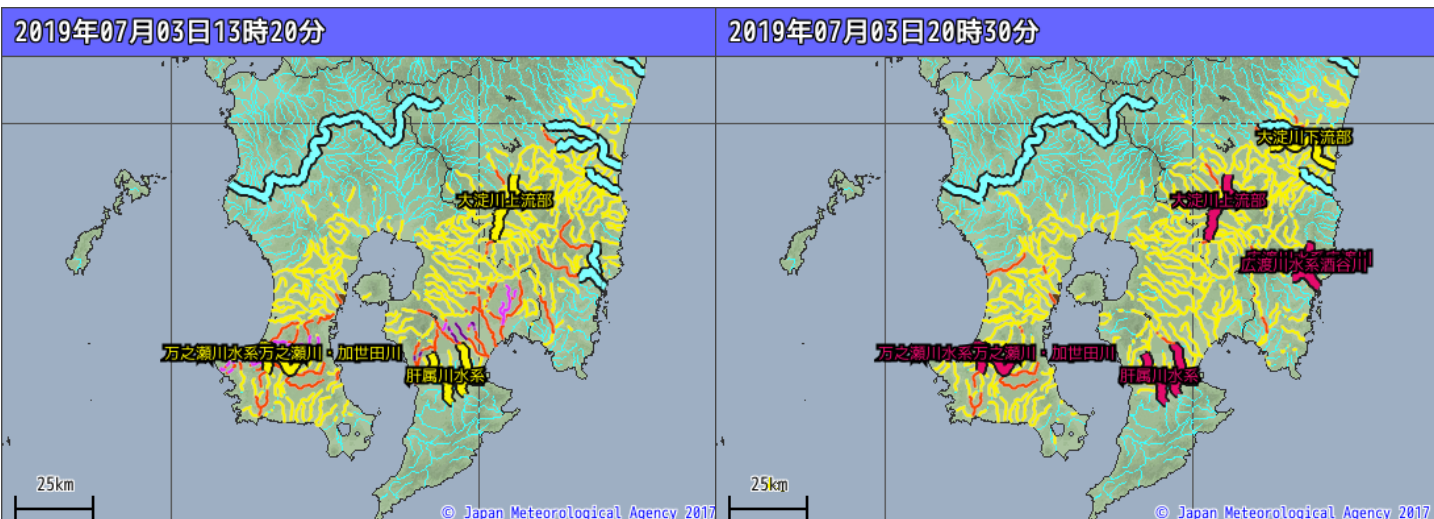
危険度分布の状況

・鹿児島県では、危険度分布の「極めて危険」（濃い紫）が出現した後も大雨が続いた。特に土砂災害について、広い範囲で「極めて危険」な状況が長時間継続した。



大雨警報（土砂災害）の危険度分布
（土砂災害警戒判定メッシュ情報）

高 危険度 低	極めて危険【警戒レベル4相当】
	非常に危険【警戒レベル4相当】
	警戒【警戒レベル3相当】
	注意【警戒レベル2相当】
	今後の情報等に留意



指定河川洪水予報
（国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。）

高 危険度 低	氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
	氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
	氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
	氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
	発表なし

洪水警報の危険度分布

高 危険度 低	極めて危険
	非常に危険【警戒レベル4相当】
	警戒【警戒レベル3相当】
	注意【警戒レベル2相当】
	今後の情報等に留意

※ 危険度分布と災害の検証については、災害データが一定程度整理された段階で別途実施して参ります。

大雨警報（土砂災害）等の発表について（鹿児島市田上の事例）

- 鹿児島市田上における土砂災害事例においては、土砂崩れ発生までに土砂災害警戒情報や大雨警報（土砂災害）の危険度分布の「うす紫」が発表されていた。

被害状況

報道によると、

3日午後8時50分ごろ、鹿児島市田上で土砂崩れにより住宅1棟が土砂に埋まったとの通報があったとのこと。この家に1人で住んでいる住民は、事前に避難していて無事を確認しているとのこと。

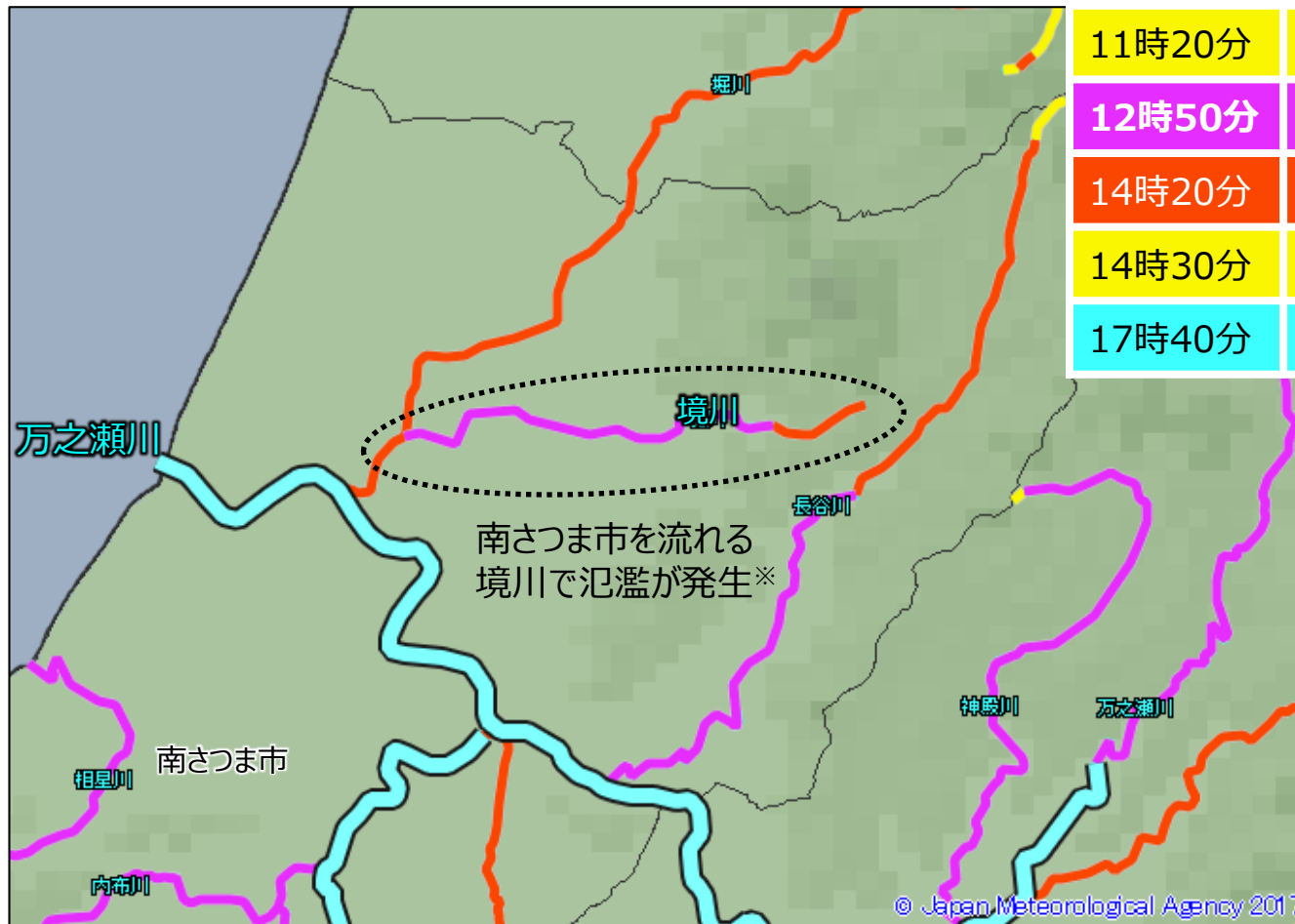
防災気象情報の発表状況

日時	状況
6/30 03:20	大雨警報(土砂災害)発表
7/1 01:45	土砂災害警戒情報発表
7/3 02:10	危険度分布「赤」出現
7/3 11:10	危険度分布「うす紫」出現
7/3 13:10	危険度分布「濃い紫」出現
7/3 20:50頃	土砂災害発生の通報

洪水警報の危険度分布の状況について（南さつま市 境川の氾濫事例）

- 氾濫が発生した南さつま市の境川では、洪水警報の危険度分布において、12時50分に、「非常に危険」の危険度が出現していた。

洪水警報の危険度分布（2019年07月03日12時50分）



境川の危険度の推移

11時20分	注意	【警戒レベル2相当】
12時50分	非常に危険	【警戒レベル4相当】
14時20分	警戒	【警戒レベル3相当】
14時30分	注意	【警戒レベル2相当】
17時40分	今後の情報等に留意	

指定河川洪水予報

（国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。）

高	氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
危険度	氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
低	氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
	氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
	発表なし

洪水警報の危険度分布

高	極めて危険
危険度	非常に危険【警戒レベル4相当】
低	警戒【警戒レベル3相当】
	注意【警戒レベル2相当】
	今後の情報等に留意

※「令和元年6月末からの大雨による被害状況（鹿児島県危機管理課）」資料（7月4日10時00分現在）より